

で由緒

比叡山の麓に鎮座する当社は、およそ2100年前の崇神天皇七年に創祀された、全国3800余の分霊社（日吉、日枝、山王神社）の総本宮です。

東本宮のご祭神である大山咋神は日本最古の書物である古事記にもその御神名が記されている比叡山の山の神様です。

また、西本宮のご祭神である大己貴神は、天智天皇の御代に奈良から大津への遷都が行われた際に奈良の三輪山より御神霊をお迎えし、国家鎮護の神として祀られました。

平安京遷都の折には、この地が都の表鬼門（北東）にあたることから、都の魔除・災難除を祈る社として、また伝教大師が比叡山に延暦寺を開かれてよりは天台宗の護法神として多くの方より崇敬を受け、今日に至っています。

境内には魔除けの象徴として、神猿（まさる）と呼ばれる猿が祀られ、「魔が去る、何よりも勝る」に因んで大切にされてきました。

中世には織田信長公の焼き討ちによって、以前の建造物等全て灰燼に帰しましたが、その後の復興によって今日の姿となっています。

また、境内には約3000本のもみじがあり、関西屈指の紅葉の名所として多くの参拝者で賑わいます。

湖国三大祭

山王祭

4月12～14日

春の訪れを告げる、年間最大の神事。

湖国三大祭の一つにかぞえられ、天下泰平・五穀豊穡を祈り、祭礼期間中には7基の神輿を中心に様々な神事が執り行われます。

天下の勇祭と呼ばれるにふさわしい、

壮大かつ勇壮な歴史絵巻が繰り広げられます。



※境内には中型以上のバスはお入りいただけませんので近隣の観光駐車場をご利用下さい。



京都方面からお越しの方は「坂本北IC」で降りることは出来ませんのでご注意下さい

●入苑協賛料	個人	大人 300円 小人 150円	団体 (30名以上) 270円 (100名以上) 220円
--------	----	--------------------	----------------------------------

※上記以外、詳細はお尋ね下さい。

日吉大社社務所／〒520-0113 滋賀県大津市坂本5-1-1

TEL:077-578-0009／FAX:077-578-0134

E-mail:info@hiyoshitaisha.jp



平安京の表鬼門鎮座
方除・厄除の大社

山王総本宮

日吉大社

HIYOSHITAISHA





1 おおみやばし 大宮橋

大宮川に架かる石橋。走井橋、二宮橋とともに「日吉三橋」と呼ばれています。【重要文化財】



2 さんのうとりい 山王鳥居

神仏習合の信仰を表す独特の形。「合掌鳥居」とも呼ばれています。

3 まさる 神猿

お猿さんは神様のお使いで「神猿」と呼ばれ、「魔が来る・何よりも勝る」として縁起の良いものとされてきました。



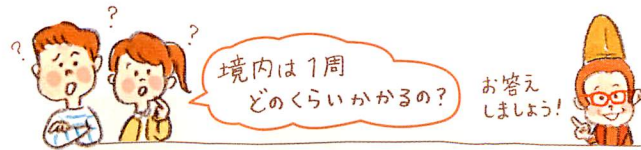
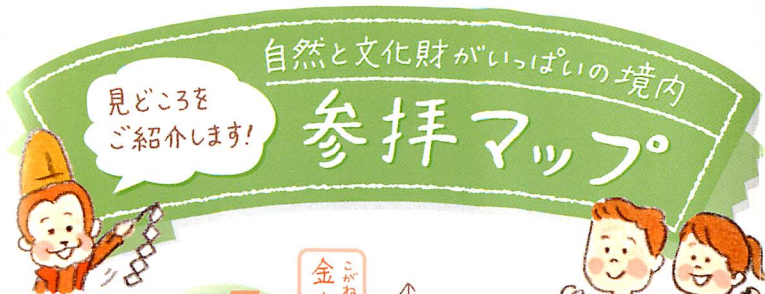
4 にしほんぐうろうもん 西本宮楼門

軒下の4隅に注目！木像のお猿さんが楼門を守ってくれています。【重要文化財】



5 にしほんぐうほんでん 西本宮本殿

現在の社殿は1586(天正14)年に建てられました。「日吉造」という独特の形で、床下にはかつて仏事を営んだ「下殿」と呼ばれる部屋があります。ご祭神は大己貴神。【国宝】



境内は1周 どのくらいかかるの？

お答え しましょう！

ご参拝コース (西受付から) 1→2→3→4→5→6→8→9→10 歩いて 約30分
ご参拝コース (東受付から) 10→9→8→6→5→4→3→2→1 距離 約700m

※紅葉の時期は60分程みていただくと良いと思います

6 みこしゅうどう 神輿収蔵庫

桃山時代から江戸時代にかけて作られた7基の神輿を展示。4月には「山王祭」というお祭が行われます。【7基とも重要文化財】



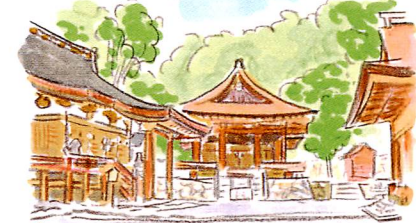
7 こがねのおおいわ 金大巖

八王子山上の急斜面に2つのお社があります。その間にある、高さ約10mの岩がこの神社の始まりの場所とされています。



8 ひがしほんぐう 東本宮

ご祭神の大山咋神と樹下宮のご祭神である鴨玉依姫神はご夫婦。【東本宮本殿は国宝】



9 ひよしめなぎおなぎ 日吉雄柳・雌柳

雌柳は男性が女性の幸せを、雄柳は女性が男性の幸せを祈る木とされています。

家内安全・夫婦和合・縁結びをお祈りする「柳の葉守り」



10 さるれいせき 猿の霊石

東本宮を出て坂を下る途中、振り返ればお猿さんのような石がお見送りしてくれています。

